

# 幼児期の体験応援プロジェクト

趣旨：幼児期に必要な体力・運動能力の基礎を培うことを目的に、楽しく体を動かして遊ぶ「36の基本的な動き」を取り入れ、自然体験やクラフト体験を通して意欲や気力、社会性や認知的能力の向上を図る。

期間：令和4年10月～12月  
 対象：胆振管内・日高管内・帯広市・音更町・芽室町・清水町・鹿追町・新得町の幼稚園・保育園・認定こども園（141施設）のうち、先着20施設  
 実施数：21施設 982名



内容：楽しく体を動かして遊ぶ「36の基本的な動き」を取り入れた運動遊びを忍者修行に見立てて提供するとともに、「早寝早起き朝ごはん」国民運動の普及啓発として「よふかしおにとはやねちゃん」の紙芝居の読み聞かせを出前教室で実施した。



## 【成果】

- 多くの施設から依頼があり、21施設で事業を実施することができた。また、今年度から帯広市方面にも対象範囲を広げ、5施設で事業を実施した。
- アンケートでは「体を動かすだけでなく、紙芝居も取り入れるなど、動と静の活動をバランス良く組み合わせ下さり、子どもたちはとても楽しんでいた」「子どもたちの関心を惹く、忍者の修行というテーマだったので、とてもはりきって取り組んでいた」などの記載があり、満足度90%の評価を得ることができた。

## 【課題】

- 43施設からの申し込みがあったが、半数以上の施設で実施することがかなわなかったため、対象範囲の選定・実施数の拡大・実施時期について検討する必要がある。
- 投げる・飛ぶ・走る・当てる・渡る動作を中心に実施しており、これに加え、次年度以降蹴る動作の取り入れを検討する。
- 早寝早起き朝ごはんの普及については、保護者の方の協力を得られるとより効果的と考えるため、園児のみならず、保護者の方に伝える場を作れるとなおよかった。